

お礼の言葉

2015年3月7日

本日は私の停年退職にあたってお集りいただきありがとうございました。

1973年から42年間産大に在職し、ほとんどの期間研究に専念させていただいたので、大学には大変感謝していましたが、文化学部設置に協力することになり、ようやく恩返しをするチャンスが与えられたと思えました。

文化学部ができてからは何よりも学生が大切になり、学生と一緒に勉強する楽しさを味わうようになりました。専門の古代インドだけでなく現代インドを知ることも大切なので、機会をみてはインドへ行くようになりました。最近は協定校ができ、3年連続して学生諸君を引率してきました。

なんといってもゼミの学生たちとの思い出がわたしにとって一番大きな財産です。学部が開設された2000年以来、ことあるたびに写真を撮ってきましたが、一枚一枚に思い出がこもっています。ゼミ関係だけで合計5ギガバイト以上ありましたが、不要なものを削除して2ギガのUSBに入る程度にまとめてみました。それでもすべての写真を丁寧に見直したわけではないので、不愉快なものがあるかと思いますが、どうかお許してください。またどうしても一期生の写真が多くなったことは否定することができません。しかし、これからまた先輩たちとの新たな交流が始まるはずですから、このような先輩がいたことを知る縁になればうれしく思います。

このUSBには卒業レポートも入れておきました。力作ばかりで、わたしもたいへん勉強させていただきました。また私自身が日本語で書いた雑文も、余裕のある範囲で入れておきました。読んでいただけたらうれしく思います。

なおわたしは退職後も勉強を続けたいので、地下鉄国際会館駅の近くにアパートを借り、4月からはここで仕事をするつもりです。

とりあえずの予定としては3月17日から2週間パリ大学に滞在し、2回の講義を行います。また6月にはアメリカのノートルダム大学で講演することになっています。このように声がかかる間が華だと思っています。

皆様お元気でお過ごしください。また時々お便りをいただけたらうれしいです。敬具

606-0026 京都市左京区岩倉長谷町 736-37 矢野道雄

TEL: 075-721-3048 携帯:08031132551

yanom@cc.kyoto-su.ac.jp (このアドレスは利用し続けます)